

「義実家への帰省」に関する実態調査

既婚者の7割は、配偶者の実家へ、年に1回以上帰省している！

妻の約半数が、夫の実家への帰省は「気が重い」。

夫の半数以上は、妻の実家で特に気を遣っていない！

お盆が終了し、来月にはシルバーウィークが控えている。この機会を利用し、実家に帰省する人も多いだろう。自らの実家への帰省は気軽にできるかもしれないが、夫や妻の実家となると、そう簡単にはいかない人も多いのではないだろうか。

今回、オウチーノ総研(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、首都圏在住の20~59歳の既婚男女862名を対象に、「『義実家』に関するアンケート調査」を行った。初めに「配偶者の実家に帰省する頻度はどれくらいですか?」と聞いた。結果、年に1回以上、配偶者の実家へ帰省している人は64.7%だった。次に「配偶者の実家への帰省は楽しみですか?」という質問をしたところ、男性は「楽しみ」と回答した人が42.7%、「特に何も思わない」が39.0%、「気が重い」が18.3%だった。一方女性は、「楽しみ」が31.5%、「特に何も思わない」が21.4%、「気が重い」が47.1%と、約半数が「気が重い」と感じているようだ。最後に「配偶者の実家で、気を遣うことは何ですか?」と聞いた。結果、最も多かったのが「家事・手伝い」。次いで、「姑との会話」、「舅との会話」、「座る場所・居場所」、「手土産」が続いた。

■調査概要

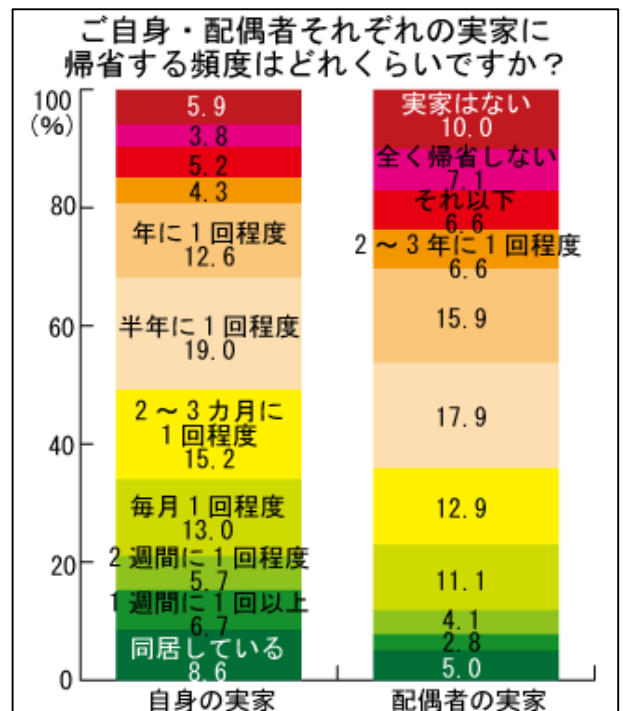
有効回答 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住の20~59歳の既婚男女862名

調査方法 インターネットによるアンケート調査

調査期間 2015年8月10日(月)~8月13日(木)

1. 既婚者の7割は、配偶者の実家へ、年に1回以上帰省している！

初めに「ご自身・配偶者それぞれの実家に帰省する頻度はどれくらいですか?」と聞いた。自身の実家に「同居している」人が8.6%、「週1回以上」という人は6.7%、「2週間に1回程度」という人が5.7%、「毎月1回程度」という人が13.0%、「2~3ヶ月に1回程度」という人が15.2%、「半年に1回程度」という人が19.0%、「年に1回程度」という人が12.6%、「2~3年に1回程度」という人が4.3%、「それ以下」という人が5.2%、「全く帰省しない」という人が3.8%、「実家はない」という人が5.9%だった。配偶者の実家の場合、「同居している」人が5.0%、「週1回以上」という人は2.8%、「2週間に1回程度」という人が4.1%、「毎月1回程度」という人が11.1%、「2~3ヶ月に1回程度」という人が12.9%、「半年に1回程度」という人が17.9%、「年に1回程度」という人が15.9%、「2~3年に1回程度」という人が6.6%、「それ以下」という人が6.6%、「全く帰省しない」という人が7.1%、「実家はない」という人が10.0%だった。年に1回以上、自身の実家へ帰省している人は72.2%、配偶者の実家へは64.7%だった。



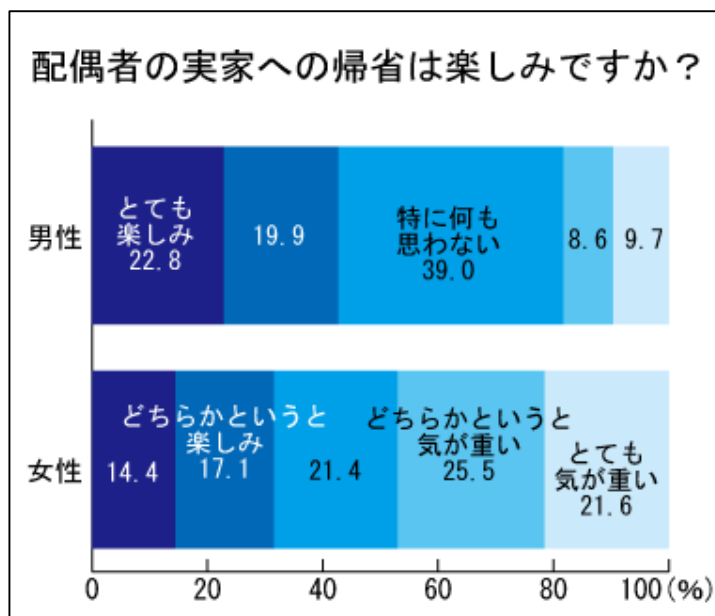
■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■

株式会社 オウチーノ(オウチーノ総研/池田) 〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1 コモディオ汐留
 <TEL:03(5776)1746 FAX:03(5776)1747 E-MAIL:soken@o-uccino.jp>

また、「配偶者の実家への帰省の主な目的は何ですか？」と聞いたところ、「子どもの成長報告・子どもの顔を見せるため」が最も多く 36.6%、次いで「習慣・義務・決まりだから」が 36.1%、「配偶者が帰省したがるから」が 22.0%、「法事・墓参りなどの行事のため」が 17.3%、「義親が会いたがるから」が 10.6%と続いた。

2. 妻の約半数が、夫の実家への帰省は「気が重い」。

次に、「配偶者の実家への帰省は楽しみですか？」という質問をした。結果、男性は「とても楽しみ」と回答した人が 22.8%、「どちらかという楽しみ」が 19.9%、「特に何も思わない」が 39.0%、「どちらかという気が重い」が 8.6%、「とても気が重い」が 9.7%だった。女性は、「とても楽しみ」が 14.4%、「どちらかという楽しみ」が 17.1%、「特に何も思わない」が 21.4%、「どちらかという気が重い」が 25.5%、「とても気が重い」が 21.6%だった。



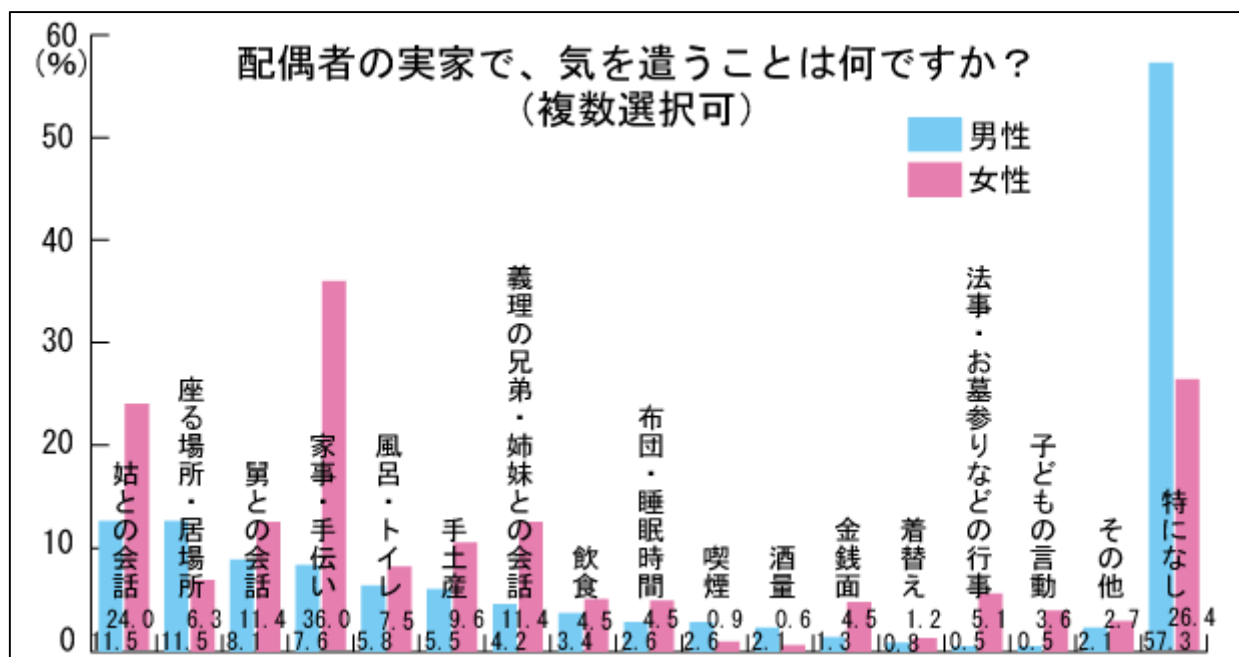
「楽しみ」という男性は 42.7%、女性は 31.5%、「気が重い」という男性は 18.3%、女性は 47.1%だった。妻は約半数が、夫の実家への帰省を「気が重い」と感じているのに対し、妻の実家への帰省を「気が重い」と感じ

ている夫はわずか 2割弱だった。夫は自分が義実家への帰省をさほど苦にしない分、妻も同様だと考えてしまうと、危険かもしれない。

「楽しみ」と回答した理由を聞いたところ、最も多く挙げたのは、「おいしいものが食べられるから」だった。具体的には、「高級店でご馳走してくれるから」(47歳/女性)や、「喜んでご馳走してくれるから」(48歳/男性)、「新鮮な野菜が食べられるから」(52歳/女性)などが挙げられた。次いで、「話ができるから」が多く、具体的には「年に1回なので、子どもについてなど積もる話がたくさんあるから」(46歳/女性)や「家族みんなで集まってお酒を飲んで話すのが楽しいから」(47歳/女性)などが聞かれた。その他には、「のんびりできるから」という声も多く、例えば「家が広々として気持ちが良いから」(56歳/女性)や、「子どもの面倒を見てもらえるし、炊事をしなくて良いから」(28歳/女性)などの理由が挙げられた。

「気が重い」と回答した人にも理由を聞いた。最も多かったのは「気を遣うから」という理由で、具体的には「仲良くしてもらっているが、やはり娘のようにはいかず気を遣うから」(40歳/女性)や「気を遣うだけで、心も体も全く休まらないから」(38歳/女性)などが挙げられた。次いで、「遠いから」が多く、「遠いから移動だけで大変で、お金もかかるから」(28歳/女性)などが挙げられた。続いて「義親や親せきと気が合わないから」が多く挙がり、「義母も義姉もネガティブでインドアだから」(36歳/女性)などが具体的に挙げられた。他には「家が汚いから」や「やる事が無く、暇だから」なども挙げられた。

3. 夫の半数以上は、妻の実家で特に気を遣っていない！



最後に、「配偶者の実家で、気を遣うことは何ですか？」と聞いた。男性で最も多かったのが「姑との会話」と「座る場所・居場所」で、ともに 11.5%。次いで「舅との会話」が 8.1%、「家事・手伝い」が 7.6%、「風呂・トイレ」が 5.8%、「手土産」が 5.5%だった。女性は、「家事・手伝い」が最も多く 36.0%、「姑との会話」が 24.0%、「舅との会話」、「義理の兄弟・姉妹との会話」がともに 11.4%、「手土産」が 9.6%、「風呂・トイレ」が 7.5%と続いた。

「家事・手伝い」に気を遣う理由を聞いた。最も多かったのは「どこまで手伝えれば良いか悩むから」(56 歳／女性)という理由だった。次いで、「習慣が異なるから」(38 歳／男性)や、「何もしなくても良いと言われるが、どうしたら良いか悩むから」(33 歳／女性)などの声が挙がった。また、「姑との会話」、「舅との会話」、「義理の兄弟・姉妹との会話」では、「共通の話題を探すのが大変だから」(46 歳／男性)や、「会話が続かないから」(38 歳／男性)という声が最も多かった。他にも「年齢が離れているため、話し方や内容に気を付けているから」(54 歳／女性)などが挙がり、特に舅に対して多かったのが「無口なので話をふるようにしている」(43 歳／女性)という声だった。

また、「特になし」の回答を男女別に見ると、男性は 57.3%だったのに対し、女性は 26.4%と、大きく差が開いた。この結果が、「配偶者の実家への帰省」が「楽しみ」か「気が重い」かの差にも繋がっているのだろう。

夫は義実家に行っても特に気を遣わず、妻は義実家で気を遣い帰省が苦痛なものになっているという、対照的な結果となった。夫婦それぞれが自分の感覚で「義実家への帰省」をとらえてしまうと、帰省をきっかけに夫婦喧嘩が勃発することにもなりかねないので注意が必要だ。

オウチーノ de ヨムーノ: <http://www.o-uccino.jp/article/archive/kurashi/20150825-souken/>